

第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会を終えて



大会長挨拶

第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会(創設50周年記念大会)は「健康寿命を延伸する動脈硬化サイエンスと予防ガイドライン2022」をテーマとして、2022年7月23日～24日に久留米シティプラザで現地開催し、また現地での講演収録分と教育講演などオンデマンド配信のみのセッションを8月31日までオンデマンド配信としてWEB開催特設サイト上で公開いたしました。

本年もコロナ禍での開催となり、開催直前に第7波となったため、現地での対面開催が心配されましたが、感染対策には十分に配慮し開催しました。幸い563名の現地参加者と、オンデマンドを含めると計1121名の参加をいただき、盛会裏に終えることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

本学術集会では、本会のための独自のプログラム委員会を設置し、多岐にわたる動脈硬化および関連疾患の研究、診療、ガイドラインについて若手の委員を中心に、シンポジウム、合同シンポジウム、若手企画などを企画いただきました。いずれもタイムリーかつアップデートの情報が豊富な素晴らしい内容だったと思います。一般演題では、口演22題、ポスター116題の発表が対面で行われ、会場では活発な質疑が交わされました。

学会創設50周年記念大会にあたり、開会式では平田健一理事長に日本動脈硬化学会50年のあゆみと展望についてご講演頂きました。特別講演では、渡辺照男先生に粥状硬化の病理について、友池仁暢先生にはBig Digital Twinのご講演いただき、海外招聘講演としてThe 7th Shimamoto Takio Memorial Lecture ではBrigham and Women's Hospital, Harvard



第一会場



ポスター会場

Medical School の Elena Aikawa教授, Masafumi Aikawa教授ご夫妻に、それぞれ動脈硬化の石灰化機構と炎症性血管疾患へのsystem approachについて会場でご講演いただき、Invited Lecture としてUniversity of Washington Medicine Diabetes InstituteのKarin E. Bornfeldt教授に糖尿病における動脈硬化発生機序についてオンラインでご講演を頂きました。

日本動脈硬化学会の各種受賞に関しては、第 39 回大島賞はりんくう総合医療センター 山下静也先生、第23回日本動脈硬化学会賞には神戸大学 平田健一先生が、第17回五島雄一郎賞には筑波大学 山岸良匡先生が受賞されました。また第30回若手研究者奨励賞では、東京医科歯科大学 青山二郎先生が最優秀賞、国立循環器病研究センター 土井貴仁先生と鹿児島大学 内門義博先生が奨励賞を受賞されました。

市民公開講座は3年ぶりの現地開催となり、「身につけよう！健康長寿を楽しむ知恵～動脈硬化って？どんなことに気を付けたらいいの？～」をテーマに久留米大学 福本義弘先生と野村政壽先生に心臓病、糖尿病について大変わかりやすい講演を頂き、参加された皆様は熱心に聴講されていました。

会場内およびフロアでは多くの参加者の方々が議論、談笑されており、対面での学会の良さを改めて実感しました。本学術集会の準備段階からご助言とご支援を頂きました日本動脈硬化学会事務局の皆様、各委員会の先生方、協賛企業や支援団体の方々、そしてご参加いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会会長
江頭 健輔
浅田 祐士郎



大会運営委員



Elena Aikawa 教授, Masafumi Aikawa 教授
ご夫妻と